

無理のクマさん

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸 正人

大阪万博が終わったのち、あのシンボルの大屋根リングは、万博が閉会したら取り壊して木材としての再利用をするという事でしたが、あの壮大で立派な建物を解体してしまうのはもったいない、移設して展示物として残せないかという意見も出ているようです。

気持ちはわかりますが、会期中の半年間持てばよいとの考えで建てたものを長期の展示に耐えうるようにするためには、解体した木材1本1本に防腐処理をしなくてはなりません。解体して移設するだけでも大変な費用が掛かるのに、そこまでして引き受ける自治体があるかどうか……結局、一部だけは保存する方向で検討されているようですが。

構造的に丈夫だからと言って、耐久性があるわけではありません。腐り始めれば、確実に強度は落ち、見た目も悪くなります。公共建築などにも木材が使用されるようになってきたことは有難いことですが、設計者もゼネコンも木材についての知識が足りません。間違えた使い方をされると、むしろ木材の評判を下げることにつながりかねません。

著名な設計者、建築家の隈研吾氏は木が好きで、建築する建物に積極的に木材を使用してくれる、木材業界にとっては強い味方です。国立競技場にも、全国各地の木材産地の木を集めて、使用して下さいました。その他にも都市部の人の目につきやすい建物に木材を多用した設計で、大きな木材PR効果を発揮してくれています。

しかし……もしその木材が腐り始めたら、どうなるでしょうか？木材にとって、マイナスのイメージを与えることとなります。それを隈研吾氏はやってしまった……20数年前に栃木県的那珂川町に「馬頭広重美術館」という建物の設計・施工監修を依頼された隈氏は、建物の屋根材にまで木材を使いたいと、「遠赤外線を使用して木材の導管内の水分を抜き取り、ホウ酸塩とリン酸塩を注入」して不燃材の認可を取り、外壁だけではなく屋根にまで木材を使用した建物を建築しました。建てた当時はその白木の美しさで高い評価を得て、見学者も絶えませんでした。建物を見た建築・設計関係者は「隈さん、やっちゃったね……」と陰で囁いていたそうです。

そしてそれから20年ほどで、彼らの心配は現実のものとなり、築20年どころか200年経って放置された古民家のように屋根も外壁も朽ち果てて、見るも無残な姿になりました。

カッコ書きで書いたように「遠赤外線を使用して木材の導管内の水分を抜き取り、ホウ酸塩とリン酸塩を注入」すれば、非常に高い不燃効果は得



られます。しかし、防腐効果はほとんど期待できません。隈氏は高度な不燃処理をすれば、同時に高い防腐効果が得られると勘違いしていたようです。

20数年前、隈研吾氏は自身の設計に木材を多用することで個性を出そうと考えたのか、公共の大型建築を始め、様々なコンペに外観、内装に木材を多用した建物をエントリーし、注目を集めました。内装はともかく、外部から見える部分に木材を使用するにはガラスで覆った内側に柱や梁を見えるように配置するなど、雨風にさらされる外部にそのまま木材を使用するのはリスクが高いという事は建築・設計業界では常識だったので、外部にそのまま木材を使用した隈氏の建物はデザイン面などでは高い評価を受けたものの、耐久性には疑問が持たれていたのです。

補修、建て直しには3億円近い資金が必要だとの見積もりに、町は頭を抱えているそうですが、裁判に訴えれば民法の規定で、築20年足らずで朽ち果てるような建物を建てた責任は追及されるこ

とになるでしょう。無理な建物を建てたクマさんは、森の中に逃げ込むことになるのでしょうか？さすがに逃げずに責任を持って補修するとのことで、現在、町と改修計画を立てているようですが、費用も全て隈設計事務所が負担するのかは公表されていません。まあ、3億円では足りないでしょうね。

特に屋根の部分は全面的に造り直さなくてはならないでしょうから、それだけでも大変な費用が掛かります。今度はさすがに加圧注入の防腐処理をするでしょうが、それでも10年か15年に1度は再塗装する必要があります。公共建築は建てる費用は予算計上しても、維持費は考えていないケースが多いので、不安です。

大学の建築学部でも木造建築や木材のことは殆ど教えられていませんので、木を愛する建築家が木に詳しいわけではありません。それをフォローするのが木の専門家である木材業者なのですが、材木屋も木の知識が十分とは言えませんからねえ……ちゃんとしたアドバイスが出来るかどうか、疑問ではあります。

かつて、林材新聞にコラムを連載していた時、「木材業者は木のソムリエにならなくてはいけない」と書きましたが、美味しいワインは飲んでもソムリエになろうと言う人は少ないですね。注文されたものを、ただ納めて金を貰う材木屋にはなりたくありませんが、商売である以上、仕方がないのでしょうか……

